

事業所名 グループホーム小町

運 営 推 進 会 議 等 開 催 報 告 書

開催日時 令和 7 年 2 月 28 日（金）14 時 00 分～14 時 45 分		
参 加 者		議 題
利用者	0 名	1 行事報告
利用者家族	0 名	2 今後の行事報告
地域住民の代表者	0 名	3 入居者様状況報告
市職員	1 名	4 身体拘束適正化検討委員会の議題について
地域包括支援センター職員	1 名	5 質疑応答・感想
事業所	3 名	6 次回会議開催予定日
会 議 録		
1. 行事報告について 《2025 年 1 月》 ・元旦の昼食におせち料理を召し上がって頂きました。 ・6 日～13 日の期間、近隣の神社に行って初詣を行いました。 ・16 日に入居者様のお誕生日会を行い、皆様と一緒に祝いをしました。 《2025 年 2 月》 ・2 日…昼食に恵方巻きを召し上がりました。入居者様と一緒に調理・盛り付けをして頂き、おいしく召し上がりました。午後のおやつにはパンケーキを焼いて楽しみながら召し上がることができました。 ・10 日…入居者様のお誕生日会を行い、皆様と一緒に祝いをしました。 ・14 日…水南保育園の園児達が来訪されて地域交流会を行いました。園児のみなさんがお歌を披露されて楽しめました。 ・17 日…訪問理美容があり、きれいさっぱりして頂きました。 ・28 日…外国のスイーツ(ネパール国のキールという料理)イベントを行い楽しんで召し上がることができました。 2. 今後の行事予定 《2025 年 3 月》 ・ひな祭り行事を行う予定となります。 ・お菓子・スイーツづくりイベントを企画する予定です。		

3. 入居者様状況報告

- ・入居者様 9 名 （男性入居者 1 名 女性入居者 8 名 ）
- ・平均年齢 89 歳 （最低年齢者 83 歳）（最高年齢者 98 歳）
- ・平均要介護度 2.89

4. 身体拘束適正化検討委員会の議題について

議題「多動による身体拘束を行わない為の介護」について

多動とは、ずっと話している状態のことや歩き回ってしまうなどの状態の事を言います。不穏になって徘徊してしまうことも多動のひとつとなります。落ち着きがなく、急に騒ぎ出してしまうこともあります。その様な場合の時も正しい介護知識と介護技術を駆使してそのときの状態に応じた対応をチームで一致団結して行えば身体拘束はせずに多動に対応した介護はできます。

例えば、「私はどこに行けばいいの?」「家に帰る!」といてそわそわしてしまうことや、急に立ち上がって動き回ってしまう入居者様がいます。その場合、入居者様の意思としては「ある目的があって行動している状態」な訳ですが、介助する側としては「入居者様の目的は何か?」ということを見つけ出すことが難しいケースがあります。入居者様に指示が通れば、ご本人のお話を傾聴することができますが、そうでない場合もあります。どちらにしても多動の場合は目的がありますので、まずは観察をして記録をとり、情報共有をして対策をとることが重要となります。

目的はそれぞれです。「家に帰りたい」という目的もあれば、「喉が渇いている」という訴えもあります。「寂しいので側にいてほしい」というだけの人もいますし、「便が出そう。便がでている」などの排泄要因も考えられます。入居者様の訴えはその日の状態によって毎回違うこともあるので介助者はそれらを考慮しながら適切な対応をすることが求められます。様々な視点から様子観察をすることは、多動の原因を突き止めることができ、介助者の負担もご本人の負担も軽減することができます。1人で解決しないことがとても大切になります。

一般的に想定できる「多動」のSOSはいくつかあります。

- ・「ここはどこなのか?」といった不安からくる多動
- ・緊張していてそわそわするといった多動
- ・「便や尿が出そう」もしくは、既にでてしまったといったことからくる多動
- ・イライラしていることからくる多動
- ・脱水からくる多動
- ・寝不足・昼夜逆転現象からくる多動
- ・お薬の副作用からくる多動
- ・発熱からくる多動
- ・「家に帰りたい」いった寂しさ・孤独感からくる多動
- ・悲しさからくる多動 など。

上記の内容から、多動になるときは必ずご本人には目的がありますので、

「なぜ多動となっているのか？」をチームで話し合い、対応をして解決に向かうことが大切です。医師やご家族も含め、多職種の人と連携をして助言を頂きながら対応することで身体拘束をせずに対応することができます。お薬の力も必要になることもあります。介護の力でできることは沢山ありますので、日々介護知識や介護技術を学んでいき、入居者様の個々の能力や状態に応じて支援をしていきます。

5. 質疑応答・感想

◆質問① 包括支援センターで関わったケースにおいても、利用者様にこれまでなかった様な急な不穏行動があり、後に病気を患っていたことが分かったケースがあった。認知症などが影響して自分で上手く体の不調を訴えることができず、不穏行動につながっていることがある。原因を探り、関係機関にできるだけ速やかにつなげられると良いと思います。(ふたば地域包括支援センター様)

→ありがとうございます。ご本人が主張できれば不穏行動の原因を特定しやすいですが主張が難しい場合は、過去の記録や当日の様子などを観察したり、職員やご家族様と情報共有をしてチームで解決するようにしています。今後も協力しながら不穏になっている原因を探って対応できる様に支援をしていきます。(グループホーム小町)

6. 次回の運営推進会議開催予定日

2025 年 4 月 25 日(金) 14:00～ 開催予定となります。

以上。